

歳末おそば配食

12月17日に毎年恒例の歳末おそば配食を行いました。

町内の80歳以上ひとり暮らし・老夫婦世帯を対象に約220食のおそばを民生児童委員の協力で作り、各地区担当の民生児童委員がおそばの配食に併せて安否確認の声掛け訪問を行いました。

歳末おそば配食には赤い羽根共同募金が活用されており、多くの方から感謝の言葉をいただいています。今年も赤い羽根共同募金にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



よいお年をお迎え下さい。



12月の子育てサロン 〜クリスマス会〜

沢山の親子が参加し、クリスマスケーキの飾り付けやサンタさんよりプレゼントが配られ、親子で楽しい時間を過ごしました。



ケーキを前に記念撮影！

役員の交代がありました

理事

辞任 上田得男氏 (浦郷：11月30日付)
選任 奥田 実氏 (小向：12月16日付)

評議員

辞任 木下良一氏 (三度：10月31日付)
選任 前田忠伸氏 (三度：11月14日付)

ご芳志

西ノ島町社会福祉協議会へ次の方々からご寄付をいただきました。謹んで厚くお礼申し上げます。

- 香典返しとして
- 金一封 三角 成人様 美田尻 浦郷
- 金一封 亀沢 ミツ子様 浦郷
- 金一封 家中 隆郎様 鹿兒島県 市部
- 金一封 大家 京子様 浦郷
- 金一封 澤野 光俊様 浦郷
- 金一封 灘 今子様 浦郷
- 金一封 中沢 裕一郎様 浦郷
- 一般寄付として
- 金一封 齋藤 幸子様 東京都 市部
- 金一封 梅谷貴代美様 東京都 市部
- 金一封 升本 富雄様 波止

戸籍の窓

(平成25年11月届出分)

(敬称略)

●おくやみ

中澤 健次	63歳	浦郷
灘 好夫	80歳	赤ノ江
家中 ヨシナ	80歳	赤ノ江
澤野 佳枝	85歳	浦郷
長谷川 とめ	109歳	小向
吉浦 妙子	84歳	波止

●おめでた

亀澤 音一	92歳	浦郷
灘 鶴勝	92歳	珍崎
梅谷 一夫	68歳	市部
神林 紀子	72歳	大山
伊藤 潤	(充)	美田尻

「ふるさと西ノ島基金わがところ」にご寄付を頂きました。

(公開を希望しない方の氏名等は掲載しておりません)

平成25年度分 寄付金総額

八一、〇〇〇円

(平成25年11月末現在)

ありがとうございました。

財政課

にしのしま

マイバッグキャンペーン実施中！

マイバッグを持つことは、一人一人が行うことができる、もっとも身近な環境保護運動の一つです。レジ袋を使わず、繰り返し利用できるマイバッグを使うことで、ごみの削減や、それに伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの削減、レジ袋の原料となる原油の節約(資源保護)へとつながります。

11月末現在、のべ106,200枚のレジ袋が節約されました。皆様のご協力をお願いいたします。

西ノ島町地球温暖化対策地域協議会



LET'S 島活！ 見つけよう私の島 アイランダー2013

平成25年11月23日（土）から24日（日）までの2日間、東京・池袋サンシャインシティ文化会館において「アイランダー2013」（主催：国土交通省、公益財団法人日本離島センター）が開催されました。アイランダーは離島振興の一環として開催され、人が住む有人島418島のうち今年（21回目）は、北は北海道から南は沖縄まで72のブース約200の島が会場に集いました。

全国の離島が抱える問題点として「人口が年々減少し、少子・高齢化が進むなど、島の存続に厳しい状況」、「漁業就業者、医療従事者などの人材不足」が考えられます。一方都市部では、島の持つ自然や独自の歴史・文化に惹かれる人々もたくさんいらっしゃいます。

西ノ島町としても「来場者に島の魅力や求人情報を幅広くPR」し、「島と都市部、人と人とを結びつけ、島に訪れ、島で働き、島で暮らすきっかけ作り」を目的として「アイランダー2013」に出展しました。また、西ノ島町のブーステーマを「移住・定住」、具体的な取組として隠岐島前病院の看護師とともに「島活相談員」として、島の求人・住宅情報などの相談に応じて、来場者が「島で働きたい」、「島で暮らしたい」と感じるきっかけ作りに取り組みしました。

会場では、西ノ島町のイメージキャラクター「活っちゃん」を活用しブースへの集客、西ノ島町の知名度UPを図りました。



一足早いクリスマスプレゼント

12月6日（金）の昼下がり、由良比女神社前のイカ寄せの浜は、ドーナリ豊漁で賑わいました。前日14杯、この日は10杯の計24杯もイカが訪れ、今回は大きさよりも数量に驚きです。

偶然にも語呂合わせ24（ニシ）なので、西ノ島に幸運が？



この日は最長で90センチの大物が。誰にでもチャンスがあります！
イカ寄せ浜へ行きましょう！

さよならレインボー

隠岐島民の永年の願いであった隠岐本土間の高速化を受け、平成5年3月に初代レインボーが就航し、平成10年6月から16年余りの運航を果たした超高速船レインボー2が11月30日（土）その役目を終え、退役しました。

西ノ島町ではレインボー2の最終

しまね景観賞受賞

地域の魅力ある景観を創出する、まちなみや建物、活動などを表彰する、本年度のしまね景観賞（奨励賞）に本町の「シャララ船」が受賞しました。

県各地から157件のうち、受賞した11件に選出されたことは大変喜ばしく、名誉なことです。



航行にあたり、別府港にてお別れセレモニーを行いました。

